

## 医療・看護安全対策委員会情報 2010. 8月号 (N076)

医薬品医療機器総合機構より医療安全情報NO17が出されました。

### 「プレフィルドシリンジ製剤の取り扱いについて」

安全に使用するための注意ポイントが出されました。

【事例】 シリンジポンプでドパミンを投与中にプレフィルドシリンジの押し子がガスケットから外れ、患者に急速に投与された。

プレフィルドシリンジには、「使用時に組み立てるタイプ」と「すでに組み立てられているタイプ」があります。今回使用されていたのは、使用時に組み立てるタイプでした。

ねじ込み式による接続のため、取り扱い時に接続がゆるむことがあるので注意することが必要です。

また、押し子を回転させながらねじ込むことがポイント！！  
すでに組み立てられているタイプもゆるむ可能性がありますので十分に注意して下さい。



※詳しい内容は以下のホームページへアクセスして下さい。

[http://www.info.pmda.go.jp/anzen\\_pmda/file/iryo\\_an\\_zen17.pdf](http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/file/iryo_an_zen17.pdf)